



みささ 議会だより

第91号 平成25(2013)年 7月号

主な内容……議会報告会、6月定例会
常任委員会・一般質問

子育てママつながろう。

支援センター(みささこども園内に併設)には、
子ども達とママ達の笑いが絶えません。

4 地域で、議会報告会を

68名の住民が参加！！ 多岐にわたっての課題に

住民の方から頂いたご意見を紹介します。

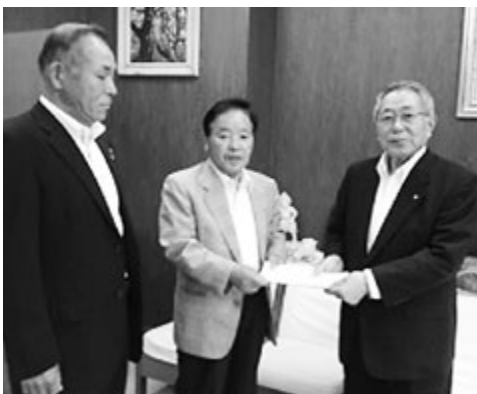
※ブランチール

- ・ホテル事業ではない活用にはどうか。誰でも入れる浴場を造ってはどうか。
- ・旅行業者のツアーに頼っているように見えるが、本気でやろうとするなら地元に使ってもらう事が大事でないか。プライダルはもう終わり。玄関を入っても従業員は下を向いたままの時がある。宿泊施設でなく別の活用方法を考えるべきでないか。
- ・職員のレベルアップを早急にすべきでないか。町民の入浴時間が制限されていて不便である。
- ・このまま公営でいくとすれば、今から大きく方向転換する検討をすべきでないか。
- ・町民よりお客さん重視のように見える。町民にとって必要な施設というのがハッキリしないといけない。



本泉交流センター

吉田町長に、提出



皆さんから頂いた、貴重なご意見や町政の課題について、議員全員で集約し、まとめたものを、議長、副議長を通して、吉田秀光三朝町長に提出いたしました。

※三徳山・世界遺産登録

- ・世界遺産登録は何時までするのか。あきらめてはどうか。住民は冷めている。
- ・20年の内に世界遺産登録できると議会は約束出来るか。ガラガラと登録運動をやってもダメでないか。

※議員定数

- ・定数削減はしないのか。議員1人当たりの町民の数を出したが、三朝町は少ない。
- ・仕事の出来る議員なら報酬が高くなっても町民は納得するので早いうちに検討していただきたい。
- ・地域協議会連絡会でも話しが出た。議員削減について考えてほしい。



開催！！

ついて懇談

御礼

この度の「議会報告会」において、地域協議会の皆様にご協力いただき感謝申し上げます。このほかにも、多数の課題についてご意見を頂きました。今後は、これらの課題について各議員がそれぞれの課題を調査研究することになりました。

今後も、議会活動にご協力いただきますよう、お願いいたします。

※観光行政

- ・三朝温泉に駐車場がない。
- ・自然の景観を取り込んで情緒豊かにすることが大事でないか。
- ・温泉だけではなく、そこから少し離れた観光行政を考えるべきでないか。それぞれの地域の良さを見直して住民それぞれが考える時期でないか。

開催日時：2013年5月8日(水) 19:00～20:30

開催地域：竹田地域

参加人数：19名

開催日時：2013年5月15日(水) 19:00～20:30

開催地域：三朝地域

参加人数：16名

開催日時：2013年5月16日(木) 19:00～20:30

開催地域：賀茂地域

参加人数：20名

開催日時：2013年5月21日(火) 19:30～21:00

開催地域：三徳地域

参加人数：13名

※締切の都合上、この度は掲載しておりませんが、高勢地区は、7月28日(日)に開催されました。



竹田公民館

※小学校の統合

- ・統合するのなら3校同時に行うべきと強く言ってほしい。
- ・議会として小学校は3校統合という考えはないか。
- ・議会議員が、もっと子ども達の事を考えて、統合に向けて積極的にしてほしい。



みささ村公民館



三徳センター

※議員の役割

- ・執行部の提案に対して良い悪いが仕事なのか。議員提案は出来ないのか。
- ・一般質問の中で町長答弁に対して突っ込みができる議員さんが少ないでないかと思う。
- ・もっと住民と話をされるべきでないか。
- ・議会放映の回数を増やしてほしい。議員の質問の後の態度が悪い。
- ・民意を反映させるような活動をしていただきたい。
- ・もっと住民と意見交換をされるような活動をしていただきたい。
- ・部落要望の内容について議員は掌握されているか。
- ・継続している事業については英断をふるって見直してほしい。

6月定例議会

産業民生常任委員会



建設水道課

○保育園の解体工事について

東保育園と三朝保育園の解体工事に入っているが、東保育園は軒下のボードに、三朝保育園は内部の壁面と天井材にアスベストの含有があり、どちらも工期延長となる。アスベストの処理費用は、別に3社の見積徴収を行い、単価決定を行う。

農林課

○補正予算：梨の春期低温降ヒヨウ被害緊急支援事業補助金261千円

梨農家12戸に対して、4月26日の降ヒヨウと、花芽が付く時期が低温であったため生育が遅れており、防除の回数がかなり増えることから、県、町、農協で1/3ずつ補助をする。補助単価は1反当たり3,900円で算定。

○地籍調査の進捗状況

地籍調査は、直営で俵原、土地改良連合会が中津、鉛山、柿谷、実光を実施中。下畑、三軒屋、大谷、田代については委託の準備をしている。

○町が出資している(有)グリーンサービスの社長が三朝町長吉田秀光氏から片柴の森嶋誠美氏に交代された

町民課

○みささこども園の一時預かり事業2,209千円が、県の補助対象事業に

○障害児保育費で、賀茂保育園の3名が4名となり891千円の増

プランナール

○平成24年度仮決算について

これ以上売り上げが下がると非常に厳しい状況であり、25年度は最低でも3億円の売り上げを目標に頑張りたい。

今年は、創業50周年ということで色々な企画を考えている。町民の方に気軽に来ていただけるよう努力していきたい。

企画観光課

○出張！なんでも鑑定団 in 三朝が決まり2,125千円

平成25年12月1日(日)三朝町総合文化ホールにて開催。

○三朝温泉開湯850周年記念事業

当初予算3,400千円、今期補正額6,000千円、補正後予算額9,400千円

「開湯850周年記念事業実行委員会」を設立し、同企画委員会を開催。今後は、随時、企画委員会及び三朝温泉街再生プロジェクト実行委員会を開催して事業に取り組む。

○三朝町多目的展示施設(旧みささ美術館)の指定管理者による事業概要について

○三朝温泉観光商工センター改築事業にかかる設計協議経過について

・実施設計 平成25年7月～9月

・既存施設解体

平成25年8月～秋頃

・建築工事 平成25年秋頃～

平成26年7月頃を予定

○三朝町制施行60周年記念事業として「ヤマセミ(町の鳥)を探せ」を実施

総務教育常任委員会



危機管理課

(委員) デジタル防災無線への移行

に伴い、個別受信機を新しくすることについて。アパートとかには付いていない率が高いと思うがどうか？

(回答) 最終的に協議の上で数量を決定していく予定。機器の価格もあり予算的なもの等を踏まえて検討する。

教育総務課

(委員) 遠距離通学補助金が増えてきているが・・・

(回答) 転入が2人あり、新たに補助金が発生するための補正である。

(委員) 三佛寺の防犯カメラの補助金は？

(回答) 三佛寺が事業主体で、4,146千円の防犯対策を行うもので、県が2分の1補助、町は45%補助。三佛寺の負担は5%。しかし、町が25%補助することで、県の間接補助が20%ある。

総務課

(委員) 国が、給与カットの措置として交付税の削減をしているが・・・

(回答) 国が平成24年度25年度の2年間7.8%削減してきている。金額として3,100万円。しかし、三朝町は平成16年度に昇給停止を行っており、独自に給与削減を行ってきたため、これに伴う給与削減は行わない。

健康福祉課

(委員) 子宮頸がんの副作用が、問題となっているがどうか？

(回答) 副作用救済制度の報告は聞いていない。今後は防災無線ホームページなどで、接種の勧奨を控えることを伝えていく。

(委員) 風疹ワクチン予防接種費助成について

(回答) 接種費用は、1万円から1万2千円の間ぐらいであり、接種費用の3分の2(上限8千円)の助成を行う。

小学校のあり方

問 町内3小学校を統合すべきではないか

答 教育長：まず西小と南小の統合を、東小については今後検討する

福田

平成25年3月19日の全員協議会で、教育委員会より町内小学校のあり方が報告された。

「南小と西小を平成30年までに統合する事が望ましい。東小については、今後充実した教育環境の保障を含めて、保護者や地域の方々と意見交換を続けながら、統合の是非及びその時期を検討する必要がある。」とのことでした。

以前に議会は「3校の統合をすべき」と言ってきました。東小に対する結論が、これでいいのかと考えるところです。

教育長

少人数学級の現状を考えますと、南小学校は限界にきていると判断しました。

東小学校では、児童数は当面現状のまま推移すると見られるため、実際の児童数を注視しながら統合について判断する必要があると考えています。

また、地域協議会に関しましては、小鹿と三徳の場合、

存続を望む声が多く、竹田では児童たちの教育を最優先に考えてほしいという意見が多かった。保護者アンケートでは、南小は統合に賛成が67%、東小では賛成、反対が拮抗しておりました。

教育委員会では、教育委員の任務をしっかりと果たすために、教育的見地に重点を置いて町内小学校のあり方を検討しました。委員の意見も当然に様々なものがありまして、議論百出しましたが、最終的には、保護者の意見を踏まえないのでは教育効果が上がらないという考えから、アンケートや懇談会の結果を基本にして結論としました。

福田

今後、有識者等の委員会の設置について、どう進めるのか。

教育長

現在、地域協議会への説明がまだ終わっていません。その後には有識者会議を開催したいと考えております。



福田茂樹議員

福田

南小は、来年度から1人学級が2学年できるが、平成30年まで統合を延ばすのはどうかと思うが。

教育長

平成30年を目途としておりますが、これから議論していく中で平成30年が早まることもあり得ると考えています。

福田

東小の保護者アンケートでは、統合してもよいが半分、反対半分ということだが、今後、校区を変える方が発生する確率が高いと思うが。

教育長

みささこども園が出来てから保護者の意見も変わってきていると思っています。そのあたりをよく研究しながら方向性を出していきたい。

答 町長：教育委員会でしっかり議論をされた後、判断したい

福田

町長は教育委員会より町内小学校のあり方について報告を受けられました。

以前、町長は当面小学校は統合をしない等の発言がありました。今回の報告を受けて、町長は小学校統合をどう判断されるのか伺うものであります。

町長

この3月に教育委員会より町内小学校の今後のあり方について報告書を受け取りました。

私は、この報告に対し、教育委員の皆さん方の意見集約に感謝するとともに、町長としてしっかり判断したいと申し上げたところであります。

私の判断は、教育委員会が各課題等を整理されてからになるものと認識をしております。学校のあり方は、教育委員会の最も任務の最たる部分でありますので、教育委員会の考え方を大切にしたいと思います。

三朝の活性化

問 山林原野を利用した活性化促進

答 ウォーキングコースのPRについて
関係団体と協議して努力したい

知久馬

三朝東郷湖県立自然公園の中国自然歩道について、三朝町内には羽衣石城跡へのみち、三朝高原へのみち、三徳山と俵原高原のみちがありますが、現在どのように利用され、活用されているか。

町長

中国自然歩道は、昭和50年代に環境省と県により指定されたもので、町内では、羽衣石から山田までの羽衣石城へのみちとして6km、三朝から三朝高原までの3km、三徳から俵原までの5kmが指定され、指導標や案内看板のほか、動植物や文化財の解説板などが整備されている。

県が委託する歩道管理員により巡回や、歩道補修が行われるなど、安全管理と利用促進のための体制が整えられている。

知久馬

説明されたように、これらのことについてのPRはどのようにされているか。

町長

三朝温泉街では、観光商工センター横の温泉広場を発着点にウォーキングコースが設定されており、三朝高原まで往復する「緑の健脚コース」ほか、南苑寺を巡る「心の安らぎコース」ふるさと健康むらを巡る「水辺のプロムナードコース」、湯の街ギャラリーを巡る「ホルミシス満喫コース」のコース案内に併せ、見どころ、消費カロリーなども表示した案内板を、温泉街の中心に8か所設置している。

知久馬

ウォーキングコース等8つのコースについては、ただ看板だけが設定してあるだけでしょうか。そのほかどのような宣伝が



知久馬二三子議員

してあるのでしょうか。

町長

看板8か所については、旅館組合で資料をつくり、それぞれの宿に配布している。

知久馬

標識等があっても、口コミも大切。行政もさることながら観光協会、旅館組合等と連携しながらPRすることが大切。

町長

ウォーキングをする人も多くあるように聞いている。観光協会、旅館組合、商工会を通じPR用パンフレットも作るよう努力していく。

環境

問 道路、公衆便所の整備について

答 コストのことを考慮して現状で対応

知久馬

道路、公衆便所の整備について、町道、県道を含めて横断歩道の白線、道路中央の白線や黄線がはげ落ちているので整備してほしい。

町長

町道については、地域の要望等も踏まえ、交通安全施設の整備とあわせて計画的に白線の引き直しを行っている。

県道については、県が定期的に道路点検を行っている。

知久馬

公衆便所について、特に図書館横の車いす用の便所は扉の閉まりがよくなく、便座を拭く用紙がありません。消毒用の用紙を置くべきだと思います。

ここだけでなく、全体的に公衆便所の整備が必要だと思う。旅行者等には不愉快な気分になると思う。

町長

図書館横のトイレは、役場庁舎とあわせて町のシルバー人材

センターに委託し、毎日清掃している。扉の鍵の件については修繕を行った。

町内の公衆トイレは、これ以外に12か所あるが、管理については地域の皆さんや町のシルバー人材センター、さらに観光協会に委託している。

便座を拭くペーパーについては、コストの事を考慮し、トイレトペーパーで対応していただければと思っている。

プロポーザル方式

問 条例を作って運用すべき

答 透明性を高める方向で検討する

山田

三朝町では最近大きな契約が3件成立した。こども園、観光商工センターと美術館である。いずれもプロポーザル方式の随意契約であり、実施については要領要項でその都度決まることになっている。

こども園と観光商工センターの要項について、「公開ヒアリングを行い、一次審査の結果とあわせて受託者を選定する」とあるが、どんなスケールを使って公開ヒアリングをどう評価されたのか。

審査委員の選任では、担当課が選考委員の原案を起案するそうだが、おかしな話だ。

審査方法では複数の採点項目があるが、選考対象者に示したり示さなかったりしている。何よりも採点結果と審査委員の最終決定が異なる場合もあると聞いている。

客観性公平性を確保するという視点でプロポーザルに関する条例を設定すべきだと思うが。

また、指定管理者の選定においては条例第3条にはすべてをクリアしなければならない項目の1つに「経費の縮減が図られるもの」とある。審査においてこれに関する配点は高いはずであるが。

町長

募集要領等や審査委員の選定は私が決裁して決定している。

審査の採点項目については、いずれの場合でも募集要項等で事前に提示している。

他の自治体ではプロポーザルに関する条例を設置しているところもあるが、三朝町では委員会設置要綱を定めている。公平性・客観性などは問題ないと考えている。

また指定管理者の選定には、高い水準のサービス・効果的な施設運営・地元貢献という観点で事業者の選定を行った。

山田

今の選考委員のあり方では決定プロセスにおいては誰も責任をとらない体制ができている。

副町長

このことに関しては内部で検討したい。

山田

採点結果と審査委員の最終決定が異なるとは。

副町長

採点結果は優先されるべきだが、必ず一致するとは申し上げにくい。

山田

委員は対等だと考える。委員の投じた点数に従うべく条例規則を作らないと、要領要項がひとり歩きしてしまう。

町長

いろいろな角度で提案いただいている。今後のありようについて検討を深めていきたい。



山田道治議員

山田

条例3条に言っていること以外に重要な視点があるなら条例を変えるべきだ。

町長

検討させていただきたい。

山田

結論として言いたいのは、条例の設定は自治体が行うことだから、プロポーザル方式で受託者の選定には条例規則を設定し、運用の客観性・公平性を図るべきである。

町長

その方向で項目検討したい。

問 三朝町運動広場、スポーツ少年団、指導者の支援について

- 答** ①多目的スポーツ広場をサッカー場という意見は、一つの提案として検討する
- ②スポーツ少年団の支援については、特に要望は聞いていないが、保護者等の意見を聞く事はやってみたい
- ③指導者の支援については、近隣の町と比べても平均的な支援と考える



藤井克孝議員

藤井

三朝町運動スポーツ広場については、現在、野球場、陸上競技場、多目的スポーツ広場（未使用のテニスコート）があるが、多目的スポーツ広場は、埋め上げて平らにし、芝を植えてサッカー等も出来るようにしてはどうか。

教育長

多目的スポーツ広場は、現在、半面を整備してゲートボールの愛好者が定期的に使用している。

今年度は、ゲートボール、グラウンドゴルフの愛好者の方に使っていただくように全面の整備を考えている。

藤井

現在、野球及びサッカーのスポーツ少年団は、西小学校のグラウンドを交代で使用している。

野球場はあるが、サッカー場は無く、試合場、練習場となると、町外へ出向いている。

町に試合会場があれば、収益や町の発展にもつながると思う。町内で試合が出来るような設備を考えていただきたい。

教育長

多目的スポーツ広場は、スポーツ愛好者へのアンケートの結果、芝生化して鍵をすることなく、誰でも（夜間も）自由に使用できるようにとの要望もあり、今後整備を図っていかねばと考えている。整備にあたっては、提案されたことも検討の一つとして考えたい。

ふるさと健康むらについては、子ども広場とグリーン広場の2か所に芝生を張り、自由に利用者が使用できるようにすると伺っている。

運動施設の改修として、今年度は、トレーニングセンターの耐震改修に向けた診断業務、テニスコートのフェンスの改修の実施予定である。

藤井

スポーツ少年団指導者に対する支援は。

教育長

現在、指導者の謝金、保険料、登録料などで6万円程度の助成を行っており、これは近隣の町と比べても、平均的な支援である。

指導者は、地域のボランティアということであり、現在の助成方法を当面継続と考えている。

藤井

スポーツ少年団のユニフォーム等は個人負担であり、親の負担が大きいと聞かすが、負担軽減策は検討されないのか。

教育長

総会等で、そういった要望は聞いていませんが、保護者、関係者の意見を聞くことはやってみたいと思います。

藤井

三朝町内で力いっぱい子どもらが将来を目指してスポ少で頑張っていく、町外に出でいなくても、三朝町内で力いっぱい子どもらが伸び伸びと運動ができる、たくましい体づくり等を検討していただきたい。

農業

問 きぬむすめの作付面積が奨励金配布面積をオーバーする。どのように配分するのか

答 作付されたすべてのきぬむすめに奨励金を出す



遠藤勝太郎議員

遠藤

特別栽培コシヒカリ、きぬむすめの奨励金について。今年産米の作付面積が集計されつつある。きぬむすめは37haくらい植付が予定されるが、奨励面積をオーバーする。どの様に奨励金を配分されるのか。2年連続穀物検定協会の特Aを取得したが全体量が少ない。きぬむすめを推進するなら全面積に奨励金を出してはどうか。

特別栽培コシヒカリは4年目になるが作付面積が減っていると聞く。メリットが少ないからではないか。ブランド化を図るうえで今から減少すると難しくないか。

町長

きぬむすめは37haの植付が予定されており、作付されたすべ

てのきぬむすめに奨励金を出すこととする。

特別栽培コシヒカリの作付面積は近年減少傾向にある。要因はJAの買い取り価格が一般のコシヒカリと変わらないことや、一等米比率が低く、生産者の収入増につながっていないこと等。いくらおいしい米を作っても生産者の収入が増えないと生産意欲がわからないことは、十分認識している。

三朝米ブランド化支援事業は少しでも高く売れる米を作って農家に還元する趣旨で取り組んでいる事業であり、そのことを改めてしっかり考えたい。

遠藤

高温障害等で二等米が9割を占めるコシヒカリより、ほとんど一等米のきぬむすめをブラン

ド化した方が近道だと思うし、業者からの引き合いも多いと聞く。特別栽培コシヒカリを今後とも推進されるのか。

町長

三朝米のブランド化に向けてはまだまださまざまな課題がある。町としてはそれらを一つ一つ克服しながら、コシヒカリの付加価値を付けるための特別栽培の作付奨励、そしてきぬむすめ作付面積の拡大に引き続き取り組んでいきたい。

農業

問 ①地大豆・三朝神倉の絶対量を確保するため町独自の助成をしてはどうか
②連作障害解消のため堆肥の助成をしてはどうか

答 ①実施する方向で臨む
②検討する

遠藤

地大豆・三朝神倉の生産振興について。現在JAにおいて三朝神倉を使って、豆腐、豆乳、納豆が製造販売され好評である。しかし他の製品を作ろうと思っても大豆の量が不足するという。三朝の特産品とするなら絶対量を確保することが大事だと思う。大豆の連作障害解消のため堆肥を10a当たり2t投入すると連作可能で収量も落ちない。大豆にも堆肥助成すべきではないか。

大豆栽培は夏場の管理が大変で作付面積が伸びない現状である。絶対量が確保できるまで思いきった助成が必要ではないか。

町内では集落毎にワイヤーメッシュ等の設置が進んでおり、奥部集落の荒廃農地防止も兼ねて大豆の作付も検討してはどうか。

町長

原材料が不足しているため、製品の生産調整をしているのが実情。地大豆の生産量を増やすことが今後の課題である。生産者の意見要望を聞き、支援策等を検討し、生産振興を図ってきたい。

遠藤

国の補助金はあるが町独自の助成金を出す考えはあるか。

町長

町の特産に向けて、実施する方向で臨む。

遠藤

連作障害解消のため、堆肥の助成についてはどうか。

町長

先進地事例の話もあり検討する。

遠藤

イソフラボン含有量が多い三朝神倉大豆、特A取得のきぬむすめと、今チャンスが当面している。今あるチャンスをいかに生かすか。これは行政の仕事だと思う。

今停滞している本町農業を維持するため、行政も本気で頑張ってもらいたい。

(その他当初予算の変更について、米の販路開拓についても質問しました。)

子育て支援策

問 子育てに関する施策は？

答 多課にまたがっているが、教育委員会とも連携をして全体的な子育て支援策についてあらためて検証したい。

清水

地域子育て支援センターの事業の、問題点をどう分析されているのか？

町長

開設日を4月から週5日に、また、支援サポーターを8人に増員したところ一ヶ月の利用者が128人から168人に増加しています。今後も講座などの質の向上を図りながら、その役割が十分果たせるよう努力してまいります。

清水

三朝町における子育て支援というのは何をどうすることなのか、そしてそれは何ゆえに必要とされているのか？

町長

子育てを取り巻く環境は、少子化や核家族化の進行、近所づきあいの減少などによる地域の連帯感の希薄化など、大きく変化をしており、本町においても少子化に歯止めがかからないのが現状です。こうしたことを改善するため妊娠から成人するまで子育て環境が整ったまちづくりを進めてまいります。

清水

三朝町において支援センターが十分に機能が果たせるためには、他の課の事業予算ではなく独自の予算が必要だと考えるがどうか？

町長

本町の子育て支援策は多課にまたがっており、予算も便宜的にそれぞれ計上しているが、子育て支援策を束ねる場所として子ども支援局があるが、教育委員会とも連携をして全体的な子育て支援策についてあらためて検証してみたい。

清水

相談員の活動が活発に出来るような支援や環境整備が必要ではないか？

町長

今年度からは、ファミリーサポートセンターも同施設に併設して、相互のアドバイザーが連携が出来る体制としました。これまで以上に家庭のニーズの把握が容易となりました。今後も関係課と連携を深めて事業内容の充実を図り、支援サポーターの研修などにも力を入れていきたい。

清水

町長は、「子どもは地域の宝である。」といつも言われているが、では、その宝を、どのような政策を展開して、どのように育てていく考えなのか？

町長

地域には、豊かな子どもを育てていく人材や力があります。今後も、「放課後児童クラブ」などの支援や地域ボランティア、子育てサークルの育成などに、力を入れていきたい。



清水成眞議員

清水

平成23年度に社会教育委員会から「時代の変化に対応したわが町の社会教育の推進方策について」の答申をどのように考えているのか？

町長

答申を受けて、町では、社会教育に関する講演会等への助成事業を予算化している。今後も地域協議会と教育委員会が協力しながら社会教育活動を引き続き推進していただきたい。

清水

来年度予算に社会教育委員会の答申が反映されるような予算措置をお願いしたい。

観光

問 恋谷橋から三朝大橋間に生える葦や雑草で景観が悪く、撤去されてはどうか

答 管理をしていただいている鳥取県に対して要望をいたします



吉田文夫議員

吉田

みささ温泉は、美しい川と清流が流れる川で知られ、多くの観光客に親しまれて参りましたが、いつのころからか繰り返し起きた大水で土砂がたまり、その上に葦や雑草が生えはじめて年々増えて広がっています。

今では恋谷橋から三朝大橋間の川幅の半分以上が、また河原風呂周辺も同じように生え、三朝大橋から大岩間はびっしり葦が生えて、川の流れを遮るように5か所、6か所に水が分かれて流れている。

みささ温泉は、橋と川に風情や情緒があり、その景観を悪くしているのです。

行政としても何らかの対応、対策をしなければならぬのではないかと。

町長

三徳川を挟んで、その両岸に旅館が建ち並ぶ風景は、町民の皆さんのみならず、多くの観光客の皆さまにとっても心身ともに癒される三朝温泉ならではの貴重な財産であり、私も将来に向けて守り続けていかなければならない大切な町の宝であると考えます。

この川に土砂が堆積していること、そして年々生え広がっている葦や雑草がせっかくの三朝温泉の風景を阻害し

ているというご指摘をいただきました。

これまでも関係者の方々から、年中きれいな清流が流れる温泉まちにすることはできないものかというご要望をいただいております。開湯850年を迎える三朝温泉を、さらに賑わいのある温泉まちにしていくためにも、この問題は、今私たちが力を合わせて解決していかなければならない課題であると認識しております。

吉田

来年は開湯850年を迎えますね、県外から多くの観光客が、みささ温泉においでいただく事を想定すれば、葦と雑草の撤去を県にしていけるようお願いいたします。

町長

今年から平成27年度までの3年間、三朝温泉街の再生に向けて三朝温泉関係者、地域の皆さん、県などのご協力もいただきながら、新たな町づくり実行委員会を立ち上げたところでございます。

三徳川の問題につきましても実行委員会を通じて、葦と雑草の撤去を、管理をしていただいている鳥取県に対して要望いたします。



雑草の生い茂る三徳川と三朝大橋

【議案に対する賛否】

議案番号	議案名	議員名（議席順）											結果	
		清水成眞	藤井克孝	吉田文夫	福田茂樹	遠藤勝太郎	平井満博	松村修	横木文雄	知久馬二三子	山田道治	杉原憲靖		牧田武文
(5月臨時議会)														
42	専決処分の承認（国民健康保険税条例の一部改正）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
43	専決処分の承認（町税条例の一部改正）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
44	専決処分の承認 （平成24年度一般会計補正予算（第10号））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
45	専決処分の承認 （平成24年度下水道事業特別会計補正予算（第2号））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
46	平成25年度一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
47	三朝町多目的展示施設の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
48	大瀬地区地籍調査事業に伴う字の区域の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
(6月定例会)														
49	平成25年度一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
50	平成25年度水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
51	三朝町土地開発公社の解散	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

※○は議案に対する賛成、●は反対したことを意味しています。
 ※牧田武文議長を除く11名の賛否状況です。

【陳情】 6月定例会の陳情に対する審査結果です。

件名	提出者	審査結果	審査意見
違法な臓器生体移植を禁じることを求める陳情	兵庫県伊丹市 井田敏美	趣旨採択	一自治体だけで判断する範囲を超えている
地方財政の充実・強化を求める陳情	自治労鳥取県本部 三朝町職員労働組合	採択 意見書提出	地方交付税の削減は小規模自治体にとって死活問題
デフレ不況からの脱却と地域経済の振興に向けて最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を求める陳情	鳥取県労働組合総連合	不採択	全国一律の最低賃金の大幅引き上げはできない (最低賃金の引き上げは行うべきという少数意見あり)
年金2.5%の削減中止を求める陳情	全日本年金者組合鳥取県本部	趣旨採択	将来持続可能な仕組みを検討すべき
日本のTPP（環太平洋連携協定）交渉への参加反対を求める陳情	全日本農民組合鳥取県連合会	採択 意見書提出	参加判断基準の6項目についての説明責任を求める
子ども・子育て支援新制度の導入に関する意見書提出を求める陳情	鳥取の保育を考える会	趣旨採択	未だ国から新制度の基準等が示されていない
三朝町議会議員の定数削減を求める陳情	政策塾みささ	継続審査	調査研究に時間を要する
議員定数見直しに関する陳情	三徳地域協議会	継続審査	〃
議員定数見直しに関する陳情	竹田地域協議会	継続審査	〃

注釈：陳情の審査結果で、即予算がつくものではありません。

おわり

ちよこひつじ

7月に入り、ずいぶん暑くなっていますね。この時期に一番多いのは、「脱水症状」です。皆さん気をつけましょう。

さて、8月4日に「キュリー祭」が開催されます。皆さん是非、お出かけ下さい。来年は、三朝温泉が開湯して850年という記念の年になります。記念イベントをはじめ、いろいろと賑やかになることでしょう。

一番大切なのは、町民全員で「開湯850年」をお祝いする雰囲気作りだと思います。町民が置いてきぼりとならないよう住民の参画が重要ですね。皆さんでお祝いしましょう。

（清水 成眞 記）

発行責任者
議長 牧田 武文

編集
委員会広報常任委員会

委員長 杉原 憲靖
副委員長 清水 成眞
委員 横木 文雄
委員 吉田 文夫
委員 遠藤勝太郎